

～ウルグアイより～

この度は「世界の笑顔のために」プロジェクトに御協力いただき、沢山の漫画を寄贈して下さいました事、本当に嬉しく思っております。ありがとうございます。今年の3月、日本から一番遠く離れた国ここウルグアイにご寄贈いただきました品物が届きました事、御報告すると共に、心より感謝とお礼を申し上げます。

まずは簡単に、ここウルグアイと首都モンテビデオについて紹介させて頂きたいと思えます。ウルグアイは大国ブラジル、アルゼンチンと国境を接し、南は大西洋に面した南米の南東部に位置する小さな国です。人口は約345万人、そのうち40%が首都モンテビデオに住んでいます。食文化は大畜産国で良質な肉が安く食べられる事から、肉が多く食べられています。海に面しているものの、あまり魚は食べられていません。また、飲み物としては日本でも一時流行ったマテ茶が多く飲まれています。ウルグアイ人はひょうたんから作られたマテ茶を飲む容器（マテ）とお湯を入れるテルモと言われる魔法瓶を、まるでかばんを持ち歩くのと同じようにいつも肌身離さず持ち歩いています。



東京の地球の裏側、対蹠地を示す地図



モンテビデオ ラプラタ川 夏のビーチ



上：スーパーの肉売り場

下：カラフルなマテ茶の容器



スポーツはやはりサッカーが人気で、次回ロシアで行われるワールドカップに向け、南米でも熱い予選が繰り広げられています。実は世界初のFIFAワールドカップが開催されたのは、ウルグアイのモンテビデオにありますセンテナリオというスタジアムです。

ウルグアイは観光立国ではありませんが、2月に首都モンテビデオで開催されるカーニバルは世界で一番開催期間が長いカーニバルとして有名で、2月から3月にかけて約40日間、路上でパレードや色々なパフォーマンスが行われます。



今年私も見に行く機会がありましたが、アフリカン・ドラムを叩きながら練り歩く迫力のパレードは、ブラジルのリオのカーニバルとはまた違った良さがあり、とても楽しい経験でした。



今回漫画をご寄贈頂いた先は、在ウルグアイ日本人会（通称A J U）で、私は日本人会付属の日本語学校に配属されており、先生方の指導力向上に向けての指導や補佐、教室に通う日系子弟やウルグアイ人学生への支援、及び日本文化の紹介など、日本語教育に係る活動を行っております。現在日本人会の日本語学校では5歳から12歳までの日系子弟10名と、成人のウルグアイ人約50名が日本語を勉強しております。

ここウルグアイの日系社会は、南米の他国のように集団移住ではなかった為、規模も小さく1世から2世、2世から3世へといった時代の流れと共に、日本語や日本文化が徐々に失われつつあるのが現状です。それでも、次の世代に言葉を残したい、日本文化を伝えたいといった取り組みがなされており、日本語クラスその他、日系人・ウルグアイ人を対象とした和太鼓クラス、剣道クラス、日本の踊り教室、空手教室などが開かれており、行事としては書き初めや運動会、日本語弁論大会、敬老の日の祝賀会などが行われております。



ウルグアイ人日本語クラス 2016 年度修了式



日系子弟と父母による文化クラス（キョウ弁作り）



2017年1月6日の書き初め



日本語弁論大会 2016



さて、今回の漫画ですが、日本語を勉強している学生に漫画に興味関心を持っている人が多い事から、彼らにぜひ日本の漫画を読んでもらいたい、読めるようになってほしいという教師の希望により協力依頼をさせていただきました。

ウルグアイでも漫画は人気があり、スペイン語に翻訳されて出版されているものもいくつかあります。日本語を勉強している学生の中には、漫画を日本語で読みたいといった理由で勉強している人も多く、日本人以上に漫画に詳しいウルグアイ人もいて驚かされる事もあります。また、特に漫画に興味がない学習者にとっても漫画は絵がある事から、日本語の教材としても非常に役に立ちます。言葉がわからなくても想像しながら読む事で、漫画を通して日本語の言葉や文法に触れる事ができます。

漫画の贈呈ですが、こんなに沢山の本が届きましたという報告を兼ね、日本人会会長に段ボールごと受け取っていただきました。会長も日本の方の善意で沢山の漫画が送られてきた事を大変喜んでいらっしゃいました。一番喜ぶのは日本語学習者だろうという事で、今年3月から始まった日本語クラスで、『日本から思いもかけない贈り物が届きましたよ。』と、段ボールを教室に持って行って学習者に箱を開けてもらいました。箱の中にぎっしりと詰まった漫画を見て皆本当に喜び『これ、知ってる!』『すごい!全部そろっている!』と満面の笑みで喜んでいました。



日本人会図書室にて、会長に受け取って頂きました。



箱を開ける瞬間です。



この漫画がすらすら読めるようになりたい!

彼らのモチベーションも上がった様でした。





何をしているの?と聞くと、  
エヴァン・ゲリオンを1巻から数えていました。



授業を始めなければならないのに  
段々收拾がつかなくなりました…



また、少しレベルが上のクラスでも、同じように箱を渡して開けてもらいました。







「いつから借りる事ができますか。まだ全部日本語がわかりませんが、少しずつ読んで日本語の勉強をしたいです。」と言っていた学生もあり、私達教師もそれを聞いて本当に嬉しくなりました。

今年から日本語の勉強を始めた学生にも、日本から漫画の本が届いた事を知らせました。ある学生の「それが読めるようになるにはどのくらい勉強時間が必要ですか。(スペイン語)」との質問に「今はそんな事より、まずは今日から勉強する平仮名を頑張って覚えてください。」という担任の返答に、クラスに笑いが起こっていました。

現在開かれている日本語クラスは4レベルあり、まだまだ日本語の読み書きがすらすらできるといったレベルの学生は少ないですが、日本の大学で勉強したいといった志の高い学生もあり、今後が楽しみです。

同封致しましたカードは全て彼らの手作り、自筆によるものです。内容は彼らの心からのものであり、メッセージが日本語で書かれているのは、日本からの善意の気持ちに日本語で感謝の気持ちを伝えたいという学生の思いからです。

まだあまり日本語ができない学生に対しては、一部教師が日本語でどう表現するかを手伝いましたが、何も質問せずに全部1人で日本語で書いた学生もありました。彼ら一人一人のメッセージから、彼らの喜びと感謝の気持ちが伝わればと思っております。

最後になりましたが、私自身も日本とウルグアイを結ぶこのようなプロジェクトに携わる事が出来た事を本当に嬉しく思っており、神奈川大学産学連携事業『本の架け橋プロジェクト』様の御善意あつての事と心より感謝しております。本当にありがとうございました。

報告者： JICAシニア海外ボランティア 平成28年度1次隊

日本語教育







Muchas Gracias por まんが!



AJU - Asociación japonesa en el Uruguay 2017





とてもおもしろい  
なマンガです  
これからほんご  
なもってべんきょうします。

かな川 大学

産学

れんけいじ ぎょう

わたしはマンガが好き  
ですから、せんぶのマンガを  
よみたいですよ。あたしのほんごが  
いようすにぶりたいですよ。  
ありがとうごさいます!

本のがけ はし

プロジェクト 木兼

わたしは...  
アメリカ人です。  
日本語を勉強しています。  
マンガが好きです。  
これからほんごを  
べんきょうしたいです。

ありがとう  
ごさいます。  
わたしはマンガが  
大好きです。  
これからほんとに  
べんきょうしたいです。  
ありがとうごさいます!

アメリカ人は  
日本のマンガをたくさん読んで  
います。私も大好きです。  
私は今エヴァンゲリオンを日本語で  
読むことができてすごく  
嬉しいです!

ありがとうごさいました。  
マンガが大好きです。

ありがとうごさいました。  
「まくらかいた」が  
いちばん好きです。